



ふれあいの丘 天文館だより



●初心者天文講座(冬の星座と惑星を見よう)

ふれあいの丘天文館では、下記の日程で初心者天文講座「冬の星座と惑星を見よう」を行います。奮ってご参加ください。

- ◆日時 2月18日(土) 午後6時30分～8時
- ◆場所 ふれあいの丘天文館
- ◆内容 冬の大三角、冬のダイヤモンドを目印に冬を代表する星座の見つけ方を解説。また、65cm望遠鏡などを用いて惑星(金星と木星)の観望を行います。(雨天曇天時は説明のみを実施)
- ◆対象 小学4年生以上(中学生以下は保護者同伴)
- ◆定員 30名
- ◆参加費 小中学生1名100円、大人1名300円(入館料として)
- ◆申込方法 2月7日(火)から電話または直接ふれあいの丘天文館まで申し込み。
- ◆受付時間 午前9時～午後9時
※当日は暖かい服装でお越しください。

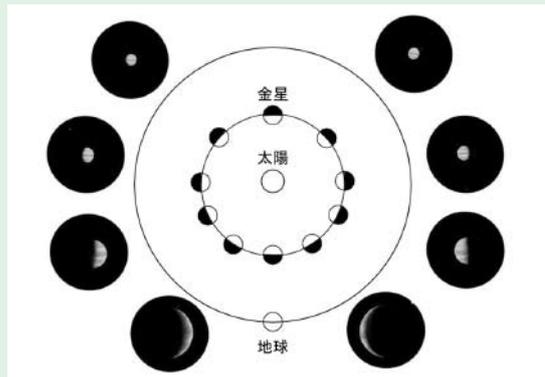
★今月の天文情報

- 月のように満ち欠けして見える金星
夕方、西の空に、ひときわ明るく輝いている

星があります。“金星”です(最も明るいころは-4.8等)。夕方に見える金星は「宵の明星」と呼ばれています。

金星は、太陽の光が当たっているところが光って見えるのと、地球-太陽-金星の位置関係で、①地球から見ると月のように「満ち欠け」をして見えます。望遠鏡で見ると形がはっきり分かります。②地球と金星の距離が変化するため金星の大きさも変化します。(月は、地球の周りを回っておりほぼ大きさは変化しません)

《金星の満ち欠け、大きさの変化の様子》



■申し込み・問い合わせ

ふれあいの丘天文館 ☎(28)3254
<http://www.fureai-tenmonkan.jp/>

ふれあいの丘 自然観察館だより

前号に続いて現在開催中のミニ企画展『魅せられた小さな虫たちの世界』から、いくつか展示品を紹介します。



●空を飛ぶ宝石「モルフォチョウ」



モルフォチョウ

南米を代表するきわめて美しいチョウの一群で、その空色の強い輝きは、自然界の一つの驚異ともいわれ、特に「レテノールモルフォチョウ」のオスは最も強く輝きます。

現在、モルフォチョウの仲間は約80種が知られ、アマゾン川流域からコロンビア、ペルー、ボリビアに多くの種が集中していますが、一部のものはメキシコからアルゼンチン北部まで分布しています。

美しい輝きのなぞは？

モルフォチョウの美しい輝きの秘密は、現代のCDがキラキラと虹色に輝く原理と同じだそうです。



モルフォチョウの羽には、りん粉(微細な小片)が屋根の瓦のように規則正しく並び、この構造によって光が複雑に反射し、干渉しあって美しい色を発色させているのです。モルフォチョウの放つ輝きは、天敵の鳥を驚かせ、たじろがせているのかもしれないね。

●巣を横取りするチャイロスズメバチ



チャイロスズメバチの女王蜂

「チャイロスズメバチ」は、女王蜂しかいない初期のキイロスズメバチなどの巣に単独で入り込み、相手の女王蜂を刺し、巣を乗っ取ることで知られています。

最初は乗っ取った巣の働き蜂が子育てをしますが、チャイロスズメバチ自身も働き蜂を産むため、巣の中はキイロスズメバチからチャイロスズメバチへと入れ替わってしまいます。このような行動を「社会寄生」といいます。

女王蜂の体長は約30ミリで、スズメバチの仲間では小型で、体全体が黒褐色をしています。



■問い合わせ

ふれあいの丘自然観察館 ☎(28)3131
<http://www.fureaino-oka.com/shizen/>